

KUMONの取り組むSDGs

教育で 世界を 変える

私たちKUMONは、個人別教育による人材の育成を通じ、地球社会に貢献すること、さらにはその先にある世界平和に貢献することを目指しています。



KUMON SDGs TOPICS

2024.04 ~ 2025.05

KUMONの発祥は、創始者である公文公が、
ひとりでも多くの子どもに公文式教育を届けたいと1955年に大阪で開いた教室です。
70年前に大阪で始まった教室は、現在では60を超える国と地域に広がり、
世界中の子どもたちに公文式学習法を提供しています。
最近ではJICAやNGO、他企業様と連携し、より多くの方々の教育機会の拡充にも取り組んでいます。
本トピックスでは直近1年のKUMONのSDGsに関連した活動を中心にご紹介させていただきます。

パートナーとの取り組み（国内）

一人でも多くの子どもたちに 学習の機会を！

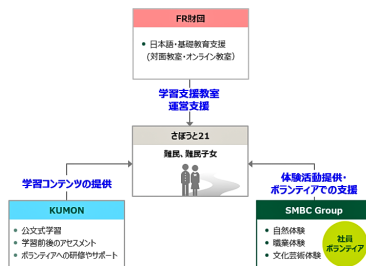
KUMONは、デロイト トーマツ ウェルビーイング財団の「子どもを未来につなげる奨学助成プログラム」に協力しています。
こども食堂等を通じて、学習支援が必要な子どもたちに公文式学習の機会を提供し、教育格差解消に貢献していきます。



詳しくはコチラ

日本における難民の子どもたちへの 教育機会の提供に向けた取組について

KUMONは、株式会社三井住友フィナンシャルグループと、一般財団法人ファーストリテイリング財団とともに、日本における難民の子どもたちの教育・体験格差の解消に向け連携して取り組んでいます。



詳しくはコチラ

パートナーとの取り組み（海外）

ネパールの公立・私立小学校3校で 公文式学習がスタート

KUMONはネパールのIGC Business Holdings Pvt. Ltd.とライセンス契約を締結し、ネパール国内での公文式学習の展開が正式にスタートしました。
教育格差解消と子どもたちの成長支援を目指し、今後も多くの子どもたちに質の高い学びを届けてまいります。ネパールでの学習の様子、調印式の様子はそれぞれのQRコードからご覧ください。



学習の様子は
コチラから



調印式の様子は
コチラから

バングラデシュBSEZ×BRAC Kumonの 教育CSRプロジェクト開始から1周年

「地域の子どもの幸せのために」。経済特区であるBSEZ(Bangladesh Special Economic Zone)の河内社長の想いから、2024年2月に近隣のソンプラ小学校に公文式学習が導入されて1年。小学校に起きた大きな変化を紹介します。



詳しくはコチラ

自治体との連携

沖縄県南城市「南城佐敷・玉城IC 周辺地区整備事業」基本協定締結

KUMONが参画する企業グループは、沖縄県南城市の「南城佐敷・玉城IC周辺地区整備事業」で優先交渉権を獲得し、2024年5月15日に基本協定を締結。市民活動拠点や図書館の機能、健康増進、子育て支援など多世代交流を促進する公民連携の新たなまちづくり拠点を南城市と連携し整備・運営してまいります。



詳しくはコチラ

栃木県宇都宮市「子ども・若者への 意見聴取等 支援業務」を受託

KUMONは、宇都宮市の「第2次宮っこ 子育て・子育て応援プラン」改定に向け、子ども・若者へのWEBアンケートやユース会議の運営支援、意見聴取を実施。多様な声を反映し、より良い子育て環境づくりをサポートします。



詳しくはコチラ

企業訪問の受け入れ

高校生が公文公記念館 「公文会長の社会貢献コーナー」見学

「公文式の創始者・公文公（くもんとおる）の生涯と公文式が歩んできた歴史」を展示し、未来を展望する公文公記念館に高校2年生3名が見学に訪れました。創始者の足跡、原典教材の部屋、公文式の歴史、そして最後に「公文会長の社会貢献コーナー」を見学いただきました。



詳しくはコチラ

中学生の企業訪問

修学旅行や校外学習の一環として、企業訪問を受け入れました。24年度は、SDGsのゴール4「質の高い教育をみんなに」に興味をもつ新潟市立中学校2校、豊島区立中学校1校の生徒の皆さんが、弊社品川オフィスを訪問。海外への広がりや公文式教室以外の公文式学習の提供等、KUMONが取り組むサステナビリティ活動について学んでいただきました。



*東京豊島区立
西巣鴨中学校の皆さん

グループ会社の取り組み

環境市場新聞「Eco Story環境活動を 推進する企業の物語」くもん出版

くもん出版の品質保持と環境配慮を両立した取り組みが、環境市場新聞に「Eco Story」として掲載されました。「くもんの日本地図パズル」はピースをはめるパネルを薄くしプラスチックの使用料を削減。「くもんの幼児ドリルシリーズ」は使用する紙の厚みを見直し紙の使用量を減らすなど、使用感を変えずに環境に配慮した活動に取り組んでいます。



環境市場新聞紙面
(電子版)

『特別支援教育×プログラミングで 拓く子どもたちの可能性』くもん出版

2020年に発売を開始したSTEAM&プログラミング教材「マタタ プロセット」の、特別支援教育における活用方法や実践事例を紹介しています。特別支援教育におけるプログラミングの現状や期待される効果とその意義、そしてKUMONが取り組んでいる特別支援教育に関わる活動も取り上げています。



詳しくはコチラ

PARTNER COMMENTS

パートナーコメント

TOPICSでも紹介している通り、KUMONとDTWBは、「一人でも多くの子どもたちに学習の機会を届けるために」連携して公文式学習の場を提供しています。2024年12月、“子どもを未来につなげる奨学助成プログラム～【食べる×学べる＝Live Well】の実現～”の取り組みをより大きな社会的インパクトにつなげていくために何ができるかを議論する、DTWB社員とKUMON社員による交流セッションを実施しました。

一般財団法人デロイトトーマツ ウェルビーイング財団(DTWB) 吉川玄徳 代表理事

「今日出たアイデアは必ずひとつでも形にします。奨学助成プログラムの取り組みは始めて3年ですが、10年20年30年… 50年と続けていかないといけないと思っています」



認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ 渋谷雅人 理事

「こども食堂を自分ごと化して考えたこの時間自体がこども食堂の応援のひとつ
の形、とても意義のある時間でした」



〔「KUMON now!」2025年2月18日公開記事より抜粋〕



ネパールにおいて、多様な分野で持続可能な事業づくりに取り組む IGCの創業者であるガネッシュ氏

「自分が子ども時代を過ごした地方では、その当時200人近くいた子どもたちの中で中学に進学できたのはわずか数人だけでした。私は必死の思いで学び続け、親元を離れ、Tシャツ1枚で首都カトマンズに出てきました。今でも、ネパール全土で60数パーセントもの小学生たちが、学び続けることを断念しています。それは経済的な理由だけでなく、教育の仕組みや環境にも課題があると考えています。KUMONとの協働が、ネパールの子どもの学力向上において、一つのマイルストーンになると確信しています」



KUMONとIGCとの連携を現地でサポートする Colorbath代表吉川氏

「今、より良いメソッドや、より良い教育を子どもたちに届けたいという高い熱量をもった人々が世界中にいます。でも、どうすれば良いのかと、その方法に悩み苦しんでいます。ネパールでもそうした思いの先生方と一緒にだからこそ、新しい試みにも果敢に取り組めており、その姿勢と成果が見えつつあることに、この先の未来への光が感じられます。教員が生徒に寄り添って、共に成長していくということをこれまで以上に考え、試行錯誤していける公文式導入プロジェクトに大きな期待とやりがいを感じています」



〔「KUMON now!」2024年7月2日公開記事より抜粋〕



発行元・お問い合わせ先：公文教育研究会 広報部 広報チーム

〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18 京急第一ビル12F koho@kumon.co.jp